

電気設備工事特記仕様書		項目		特記事項		種目	適用	項目	特記事項		種目	適用	項目	特記事項	
工	工事名称	幼稚園PHS機器更新工事(わかば・神照・湖北)													
	工事場所	長浜市八幡東町他													
事	工事期間	契約締結日の翌日より90日間													
	工事概要説明	電話交換設備の更新及び多機能電話・PHS機器の更新工事													
概	*該当工事には工種欄に○印を附す。														
	適用	No	工事種目	工種		備考									
		1	高(低)圧引込設備	新設	改修	解体									
		2	受変電設備												
		3	電灯・動力幹線設備												
		4	電灯・コンセント設備												
		5	動力設備												
		6	拡声設備												
		7	電話設備		○										
		8	呼出し設備		○										
		9	防犯カメラ設備												
		10	テレビ共聴器設備												
		11	自動火災報知設備												
		12	ガス漏れ警報設備												
		13	防火戸自閉設備												
		14	避雷設備												
		15	蓄電池設備												
	16	機械警報設備													
要	別途工事														
	1. 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官庁官庁官廳部監修公共建築工事標準仕様書及び公共建築改修工事標準仕様書、公共建築設備工事標準図書の最新版による。														
電	No 名称 構造 床面積(m <sup>2</sup> ) 延面積(m <sup>2</sup> ) 備考														
	1														
工	計														
	項目 特記事項														
建	適用項目 一般共通事項の扱いは、*印を付したものを適用する。														
	* 1 施工基準														
物	2 監理指針														
	3 施工監理														
概	4 完成図														
	5 工事写真														
要	6 技術管理														
	7 下請業者														
共	8 技術士														
	9 検査合格														
通	10 建築工事														
	11 既存設備														
事	12 公害対策														
	13 建設副産物の適正処理														
項	14 産業廃棄物の処理等														
	15 発生材の処理														
項	16 石綿含有														
	17 保険等														
共	18 監督員事務所														
	19 安全対策														
通	20 統括安全衛生管理義務者														
	21 別途工事														
事	22 シンナー等の保管管理														
	23 フロンの回収等														
項	24 工事加付の作成登録														
	25 施工体制点検														
概	26 過積載の防止措置														
	27 技術検査														
要	28 施工上の留意事項等														
	29 再生資源														
通	30 工用機														
	31 騒音振動														
事	32 建設														
	33 各種届出														
項	34 仮設電力料金等														
	35 現場代理人														
共	36 運搬車														
	37 軽微な変更														
通	38 不当要求														
	39 防犯カメラ設備														
事	40 防犯カメラ設備														
	41 防犯カメラ設備														
項	42 ガス漏れ警報設備														
	43 防犯カメラ設備														



共通特記

- (1) 現状機器の運用を行いながらの工事となるため、施工に先立ち現状設備の調査検討を十分にを行い、業務への影響を確認し、施工方法を検討した上で施工計画を作成すること。
- (2) 電話設備等の機能を停止させる作業は、監督職員と協議の上、指定日、指定時間に行うこと。
- (3) 配線及び一般電話機は既設流用とし、外線番号については、基本的には既設の番号を使用するものとする。
- (4) 電話回線については本工事と同時に回線種別の変更を伴う切り替えを行うことを計画している。  
請負者は電話回線提供会社と事前に協議を行うなど、計画、実施において業務に支障が発生しないよう調整を行うこと。
- (5) 引込みはひかり回線+アナログ回線とする。ただし、ひかり回線は引込み後INS64に変換済み。(NTT対応済)  
将来、アナログ回線をひかり回線に統合するため、拡張性を持たせた仕様とすること。(主装置へはINS64で接続)

電話交換機等 設備仕様																																													
1. 一般事項	(1) 本工事は、有線電気通信法、電気通信事業法に定める端末設備等規則に基づき施行すること。 (2) 本工事に必要な日本電信電話(株)等の申請手続きは、全て請負者が代行して行うこととする。 (3) 本工事の完了は、据付工事完了後検査員の立会検査合格後引き渡しするものとする。																																												
2. 機器構成	(1) 電子交換機 (2) 多機能電話機 (3) 一般電話機 (4) 電源装置 (5) PHSアンテナ (6) PHS子機 (7) ドアホン																																												
3. 機器仕様	<table border="1"> <tr> <td>3-1 交換機</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>(1) 交換方式</td> <td>制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化</td> </tr> <tr> <td>(2) 設置方法</td> <td>自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする</td> </tr> <tr> <td>(3) 応答方式</td> <td>ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式</td> </tr> <tr> <td>(4) トラフィック条件</td> <td>内線電話機1台あたりの呼量は6HCS程度とする</td> </tr> <tr> <td>(5) 電源条件</td> <td>入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする</td> </tr> <tr> <td>(6) 環境条件</td> <td>温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと</td> </tr> <tr> <td>(9) 機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴番積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> </ul> </li> <li>◆システム機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>3-2 電話機</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>(1) デジタル多機能電話機機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(2) 一般電話機機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3) PHS子機(専用ストラップ付き)機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(4) PHSアンテナ機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>3-3 その他機能等</td> <td> <table border="1"> <tr> <td>(1) 通話録音機能</td> <td>                     電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること                      ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする                      ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること                      ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること                      ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)                      ・500時間程度録音できること                 </td> </tr> <tr> <td>(2) 通話モニタ機能</td> <td>                     デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること                      通話録音中も通話モニタ可能なこと                 </td> </tr> <tr> <td>(3) 非通知着信拒否</td> <td>                     外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否(非通知の場合は「通知しておかけ直しください」等のガイダンスを流すこと)ができること                 </td> </tr> <tr> <td>(4) ページング</td> <td>                     電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びできること                      呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと                      ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。                 </td> </tr> <tr> <td>(5) インターホン</td> <td>                     交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。                 </td> </tr> <tr> <td>(6) 拡張性</td> <td>                     柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)                 </td> </tr> <tr> <td>(7) リモート保守機能</td> <td>                     電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと                 </td> </tr> <tr> <td>(8) PHS緊急メッセージ</td> <td>                     多機能電話等のワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。                      また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること                 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	3-1 交換機	<table border="1"> <tr> <td>(1) 交換方式</td> <td>制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化</td> </tr> <tr> <td>(2) 設置方法</td> <td>自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする</td> </tr> <tr> <td>(3) 応答方式</td> <td>ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式</td> </tr> <tr> <td>(4) トラフィック条件</td> <td>内線電話機1台あたりの呼量は6HCS程度とする</td> </tr> <tr> <td>(5) 電源条件</td> <td>入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする</td> </tr> <tr> <td>(6) 環境条件</td> <td>温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと</td> </tr> <tr> <td>(9) 機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴番積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> </ul> </li> <li>◆システム機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </table>	(1) 交換方式	制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化	(2) 設置方法	自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする	(3) 応答方式	ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式	(4) トラフィック条件	内線電話機1台あたりの呼量は6HCS程度とする	(5) 電源条件	入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする	(6) 環境条件	温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと	(9) 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴番積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> </ul> </li> <li>◆システム機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul>	3-2 電話機	<table border="1"> <tr> <td>(1) デジタル多機能電話機機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(2) 一般電話機機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3) PHS子機(専用ストラップ付き)機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(4) PHSアンテナ機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul> </td> </tr> </table>	(1) デジタル多機能電話機機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul>	(2) 一般電話機機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul>	(3) PHS子機(専用ストラップ付き)機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul>	(4) PHSアンテナ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul>	3-3 その他機能等	<table border="1"> <tr> <td>(1) 通話録音機能</td> <td>                     電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること                      ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする                      ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること                      ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること                      ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)                      ・500時間程度録音できること                 </td> </tr> <tr> <td>(2) 通話モニタ機能</td> <td>                     デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること                      通話録音中も通話モニタ可能なこと                 </td> </tr> <tr> <td>(3) 非通知着信拒否</td> <td>                     外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否(非通知の場合は「通知しておかけ直しください」等のガイダンスを流すこと)ができること                 </td> </tr> <tr> <td>(4) ページング</td> <td>                     電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びできること                      呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと                      ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。                 </td> </tr> <tr> <td>(5) インターホン</td> <td>                     交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。                 </td> </tr> <tr> <td>(6) 拡張性</td> <td>                     柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)                 </td> </tr> <tr> <td>(7) リモート保守機能</td> <td>                     電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと                 </td> </tr> <tr> <td>(8) PHS緊急メッセージ</td> <td>                     多機能電話等のワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。                      また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること                 </td> </tr> </table>	(1) 通話録音機能	電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス) ・500時間程度録音できること	(2) 通話モニタ機能	デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと	(3) 非通知着信拒否	外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否(非通知の場合は「通知しておかけ直しください」等のガイダンスを流すこと)ができること	(4) ページング	電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。	(5) インターホン	交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。	(6) 拡張性	柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)	(7) リモート保守機能	電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと	(8) PHS緊急メッセージ	多機能電話等のワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること
3-1 交換機	<table border="1"> <tr> <td>(1) 交換方式</td> <td>制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化</td> </tr> <tr> <td>(2) 設置方法</td> <td>自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする</td> </tr> <tr> <td>(3) 応答方式</td> <td>ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式</td> </tr> <tr> <td>(4) トラフィック条件</td> <td>内線電話機1台あたりの呼量は6HCS程度とする</td> </tr> <tr> <td>(5) 電源条件</td> <td>入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする</td> </tr> <tr> <td>(6) 環境条件</td> <td>温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと</td> </tr> <tr> <td>(9) 機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴番積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> </ul> </li> <li>◆システム機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul> </td> </tr> </table>	(1) 交換方式	制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化	(2) 設置方法	自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする	(3) 応答方式	ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式	(4) トラフィック条件	内線電話機1台あたりの呼量は6HCS程度とする	(5) 電源条件	入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする	(6) 環境条件	温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと	(9) 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴番積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> </ul> </li> <li>◆システム機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul>																														
(1) 交換方式	制御方式 番積プログラム制御方式 通話路方式 時分割交換 冷却方式 自然空冷 処理装置 64bitデジタルシグナルプロセッサ 冗長方式 一重化																																												
(2) 設置方法	自立設置型及び19インチラック搭載を選択可能なものとする																																												
(3) 応答方式	ダイヤルイン方式、サブアドレス方式、ダイレクトインライン方式、簡易中継台方式																																												
(4) トラフィック条件	内線電話機1台あたりの呼量は6HCS程度とする																																												
(5) 電源条件	入力電源 AC100V±10V、48~62Hz バッテリーにより3時間停電補償とする																																												
(6) 環境条件	温度 0~40℃ 湿度 20~85%RH 結露のないこと																																												
(9) 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外線発信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動選局発信/方路選局発信</li> <li>・発信者番号通知/非通知機能</li> </ul> </li> <li>◆外線着信                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・着信履歴番積</li> <li>・外線別個別着信(DIL)</li> <li>・応答待ち合わせガイダンス送出</li> </ul> </li> <li>◆保留・転送                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム/パーク保留</li> <li>・話中転送</li> </ul> </li> <li>◆システム機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議通話</li> <li>・ページング</li> </ul> </li> <li>◆ボイスメール機能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・通話録音</li> <li>・ユーザ録音ガイダンス</li> </ul> </li> </ul>																																												
3-2 電話機	<table border="1"> <tr> <td>(1) デジタル多機能電話機機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(2) 一般電話機機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3) PHS子機(専用ストラップ付き)機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(4) PHSアンテナ機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul> </td> </tr> </table>	(1) デジタル多機能電話機機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul>	(2) 一般電話機機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul>	(3) PHS子機(専用ストラップ付き)機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul>	(4) PHSアンテナ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul>																																				
(1) デジタル多機能電話機機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LCD表示 全角10桁(半角20桁)×6行、漢字/かな/カナ/英数</li> <li>・可変機能ボタン 30個以上</li> <li>・発信/着信履歴 8,000件程度</li> <li>・着信表示ランプ7色</li> <li>・停電時アナログ局線との直通接続が可能なこと(指定電話機のみ)</li> </ul>																																												
(2) 一般電話機機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リダイヤルボタン(再送)、フッキングボタン</li> </ul>																																												
(3) PHS子機(専用ストラップ付き)機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続通話時間 約7時間</li> <li>・高速ハンドオーバー対応</li> </ul>																																												
(4) PHSアンテナ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線区間インターフェース RCR STD-28準拠</li> <li>・無線周波数帯 1900MHz帯</li> </ul>																																												
3-3 その他機能等	<table border="1"> <tr> <td>(1) 通話録音機能</td> <td>                     電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること                      ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする                      ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること                      ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること                      ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス)                      ・500時間程度録音できること                 </td> </tr> <tr> <td>(2) 通話モニタ機能</td> <td>                     デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること                      通話録音中も通話モニタ可能なこと                 </td> </tr> <tr> <td>(3) 非通知着信拒否</td> <td>                     外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否(非通知の場合は「通知しておかけ直しください」等のガイダンスを流すこと)ができること                 </td> </tr> <tr> <td>(4) ページング</td> <td>                     電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びできること                      呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと                      ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。                 </td> </tr> <tr> <td>(5) インターホン</td> <td>                     交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。                 </td> </tr> <tr> <td>(6) 拡張性</td> <td>                     柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)                 </td> </tr> <tr> <td>(7) リモート保守機能</td> <td>                     電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと                 </td> </tr> <tr> <td>(8) PHS緊急メッセージ</td> <td>                     多機能電話等のワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。                      また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること                 </td> </tr> </table>	(1) 通話録音機能	電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス) ・500時間程度録音できること	(2) 通話モニタ機能	デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと	(3) 非通知着信拒否	外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否(非通知の場合は「通知しておかけ直しください」等のガイダンスを流すこと)ができること	(4) ページング	電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。	(5) インターホン	交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。	(6) 拡張性	柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)	(7) リモート保守機能	電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと	(8) PHS緊急メッセージ	多機能電話等のワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること																												
(1) 通話録音機能	電話応対におけるトラブル回避のために通話録音機能を有すること ・通話録音の対象は、外線、多機能電話機全数とする ・手動録音/自動録音/さかのぼり録音に対応すること ・他の多機能電話機に転送した後も継続して録音ができること ・通話録音の録音告知機能を有すること(『この電話は、通話内容を録音させていただきます。』等のアナウンス) ・500時間程度録音できること																																												
(2) 通話モニタ機能	デジタル多機能電話機の操作により、他電話機の通話をモニタできること 通話録音中も通話モニタ可能なこと																																												
(3) 非通知着信拒否	外線着信時、発番号が非通知だった場合やあらかじめ登録しておいた迷惑電話番号と一致した場合に着信を拒否(非通知の場合は「通知しておかけ直しください」等のガイダンスを流すこと)ができること																																												
(4) ページング	電話機の操作により、非常放送アンプに接続して放送呼びできること 呼び出しはデジタル多機能電話機およびPHSから可能なこと ハウリングが発生する場合は、音響測定を行い必要に応じて測定結果を提出すること。																																												
(5) インターホン	交換機に取付し、PHS子機にて応答ができること。																																												
(6) 拡張性	柔軟な拡張性を有し、将来の機能追加に容易に対応可能なこと(IP電話/スマートフォンの内線利用等)																																												
(7) リモート保守機能	電話回線を使用し、遠隔でデータ設定等の保守が可能なこと																																												
(8) PHS緊急メッセージ	多機能電話等のワンタッチ操作により、ほぼ同時にすべてのPHSに対して「不審者」「全員招集」などのテキストメッセージを送れること。 また、通話中の場合は終話後メッセージの着信が表示されること																																												

わかば幼稚園				
		現況	改修後	備考
PBX 回線容量	アナログ	2	2 / 4	
	INS64	0	0 / 2	回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	6	6 / 8	
	PHS-BS回線	7	7 / 8	
端末	ドアホン	-	-	
	ページング	1	1 / 2	
	多機能電話機	6	6	
	テレホンアーム	-	-	
	PHSアンテナ	7	7	
	PHS端末	14	14	
	UPS	-	1	参考品番:BY50S

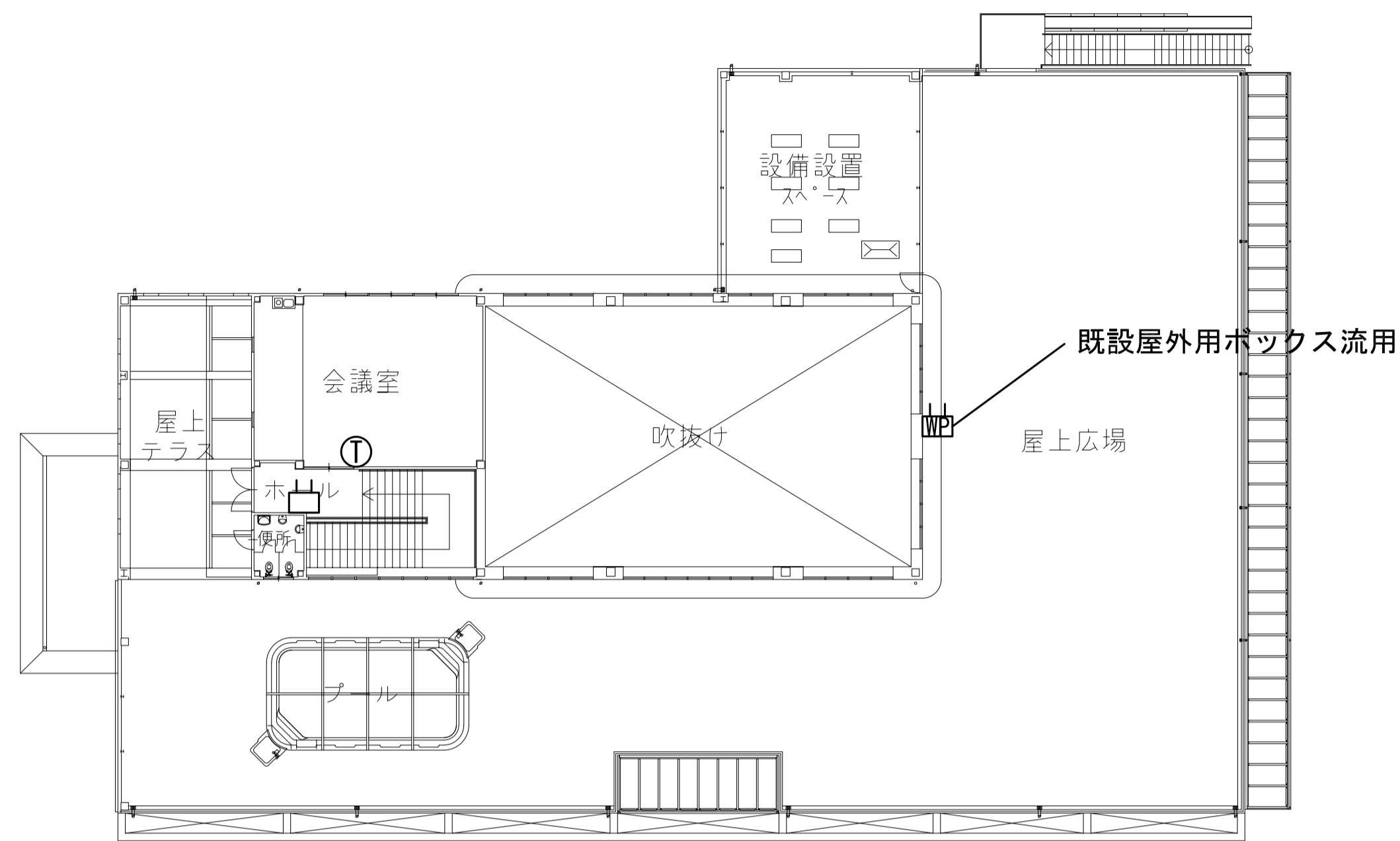
神照幼稚園				
		現況	改修後	備考
容量	アナログ	0	0 / 2	
	INS64	2	2 / 4	回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	8	8 / 12	
	PHS-BS回線	14	6 / 8	
端末	ドアホン	-	-	
	ページング	1	1 / 2	
	多機能電話機	8	8	
	テレホンアーム	4	7	
	PHSアンテナ	11	6	
	PHS端末	14	19	
	UPS	-	1	参考品番:BY50S

湖北幼稚園				
		現況	改修後	備考
容量	アナログ	0	0 / 2	
	INS64	1	1 / 2	回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	9	9 / 12	
	PHS-BS回線	3	4 / 4	
端末	ドアホン	-	1	
	ページング	1	2 / 2	
	多機能電話機	9	9	
	テレホンアーム	0	0	
	PHSアンテナ	3	4	
	PHS端末	11	11	
	UPS	-	1	参考品番:BY50S

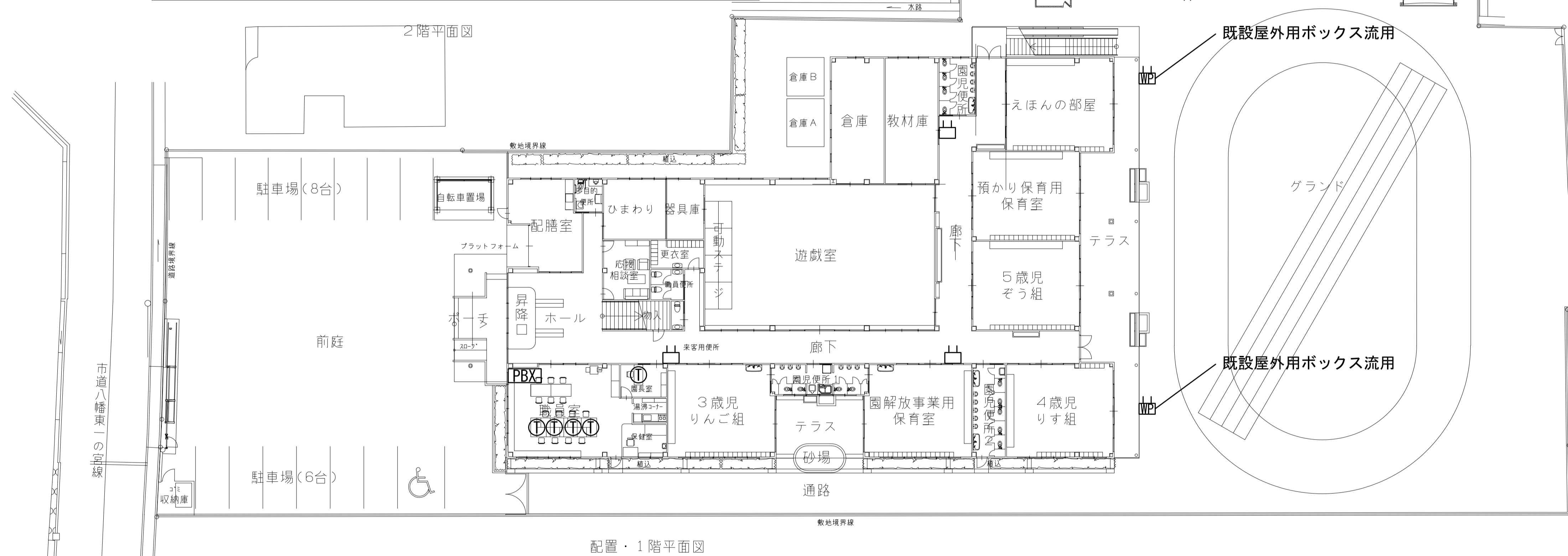


TITLE  
幼稚園PHS機器更新工事  
(わかば・神照・湖北)

DRAWING NAME  
共通特記  
A1-SCALE A3-SCALE  
No. 1406210  
E 2 / 5



わかば幼稚園				
	現況	改修後	備考	
PBX 回線容量	アナログ	2	2 / 4	
	INS64	0	0 / 2	回路数 (1回路2ch)
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	6	6 / 8	
	PHS-BS回線	7	7 / 8	
端末	ドアホン	-	-	
	ページング	1	1 / 2	
	多機能電話機	6	6	
	テレホンアーム	-	-	
	PHSアンテナ	7	7	
	PHS端末	14	14	
UPS	-	1	参考品番: BY50S	



注1) 図中特記なき配線は下記による。  
(天井ころがし配線、  
露出部は配管保護実施のこと)  
EM-ICT 0.5-2P

注2) シンボルについて  
実線 : 新設 (既設有の場合は撤去のこと)  
破線 : 撤去

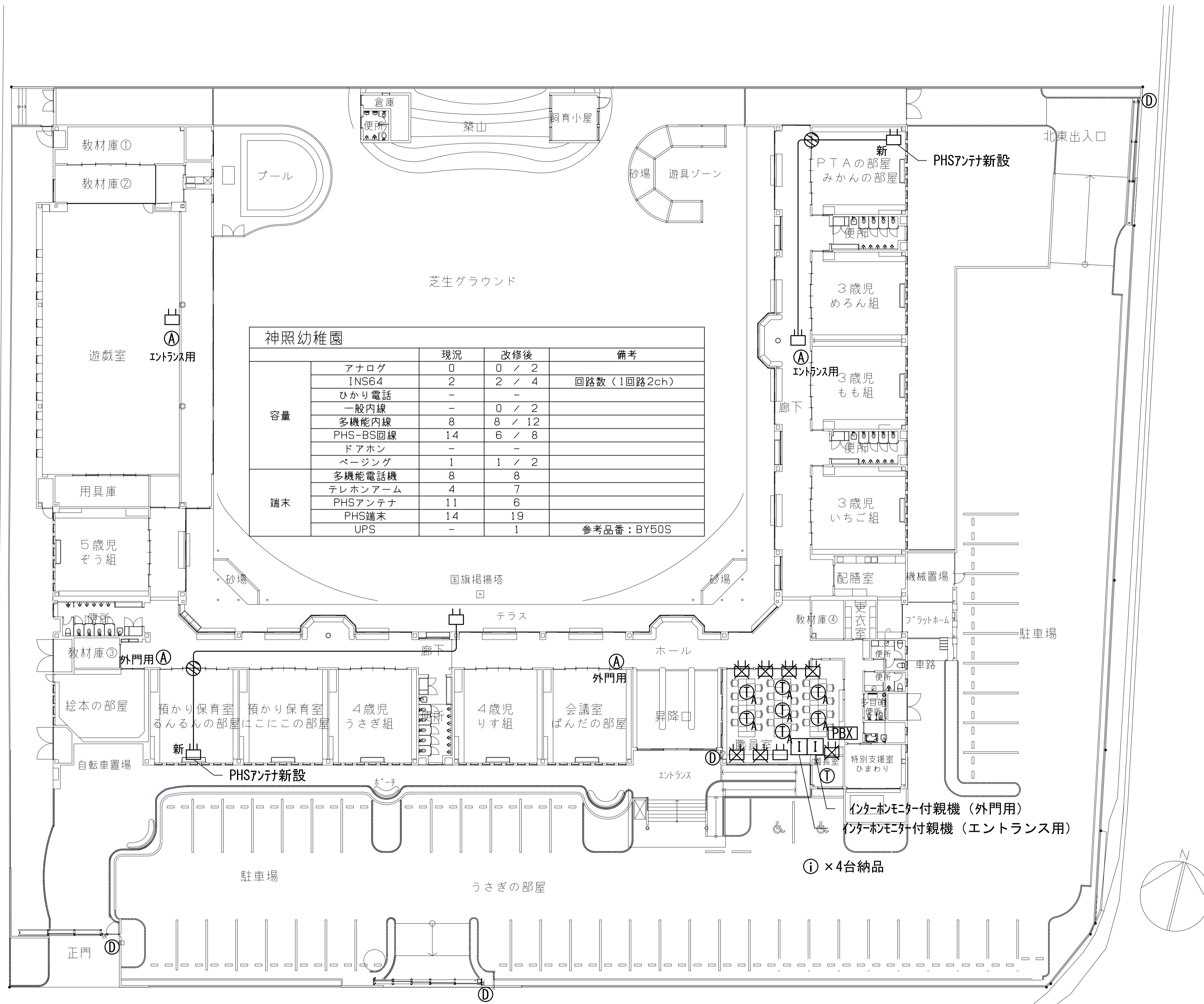
注3) 「X」マークは撤去を示す。  
撤去跡にカバープレート設置のこと。

注4) 「新」マークがあるものは新設とする。  
無いものは既設機器の撤去、新設とする。

- (1) 主装置は更新するものとする。バッテリー設置場所に関しては担当者協議の上、変更可とする。
- (2) 電話機、PHSアンテナの配線はEM-ICT0.5-4-2Pとし適宜モール、配管等保護を行うこと。防火区画の壁貫通を行う場合は、建築基準法に基づき防火区画処理を行うこと。
- (3) 電話機・PHSアンテナ等の設置は、既設配線・配管・端子台を使用しても良いこととする。屋外アンテナはシーリング処理(壁面~BOX間 含)を行うこと。
- (4) 主装置の電源は既設コンセントを抜け止コンセントに交換し、抜くことを禁止する旨の表示をする。
- (5) ページングアンプへの接続は既設と同様とする。但し、放送の優先順位は非常放送の次とする。
- (6) 既設のONU、VOIPアダプタ用のUPSを新たに取り付けること。

	壁貫通 (防火区画貫通処理)		多機能電話機		PHSアンテナ
	点検口 新設450V		多機能電話機(テレフォンアーム付)		PHSアンテナ (防球)
	点検口 既設450V		電話交換機		PHSアンテナ (屋外用)





	現況	改修後	備考
容量	アナログ	0 / 2	
	INS64	2 / 4	回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	
	一般内線	0 / 2	
	多機能内線	8 / 12	
端末	PHS-BS回線	6 / 8	
	ドアホン	-	
	ページング	1 / 2	
	多機能電話機	8	
	テレホンアーム	4	
	PHSアンテナ	11	
	PHS端末	14	
	UPS	-	1

記号	名称	数量	備考
I	インターモニター付親機	2	参考品番: VL-MWH710
D	インターホン付玄関子機	4	参考品番: VL-VH575AL-H
T	モニター付きワイヤレス子機	4	参考品番: VL-WD616
A	中継アンテナ	4	参考品番: KX-FKD3

⊗	壁貫通 (防火区画貫通処理)	T	多機能電話機	⊞	PHSアンテナ
⊠	点検口 新設450口	T <sub>A</sub>	多機能電話機(テレホンアーム付)	⊞ <sub>防</sub>	PHSアンテナ(防球)
⊡	点検口 既設450口	PBX	電話交換機	⊞ <sub>屋</sub>	PHSアンテナ(屋外用)

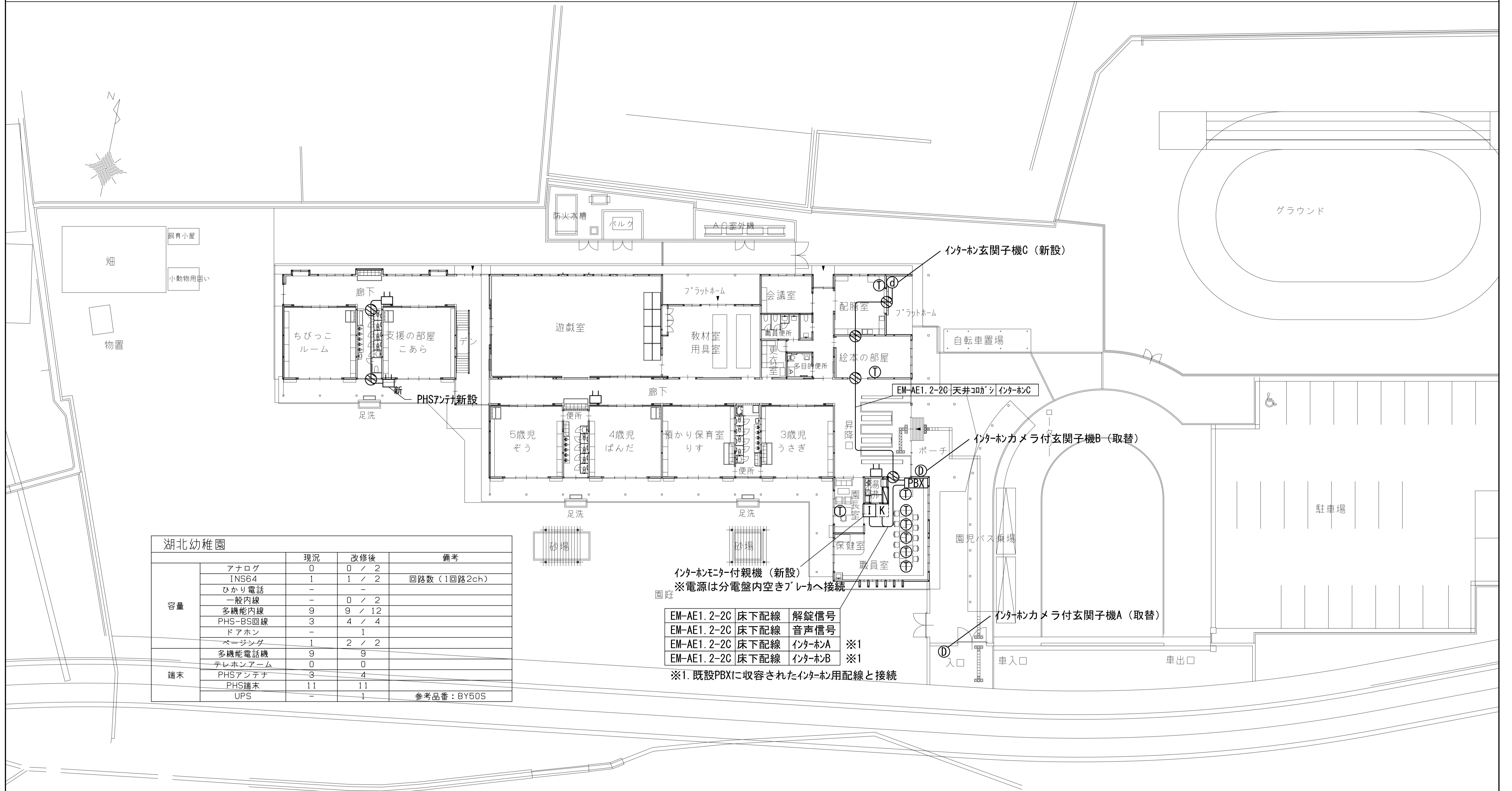
- 注1) 図中特記なき配線は下配による。  
(天井ごろがし配線、露出部は配管保護実施のこと)  
EM-ICT 0.5-2P
- 注2) シンボルについて  
実線 : 新設(既設有の場合は撤去のこと)  
破線 : 撤去
- 注3) 「X」マークは撤去を示す。  
撤去跡にカバープレート設置のこと。
- 注4) 「新」マークがあるものは新設とする。  
無いものは既設機器の撤去、新設とする。

- (1) 主装置は更新するものとする。バッテリー設置場所に関しては担当者との協議の上、変更可とする。
- (2) 電話機、PHSアンテナの配線はEM-ICT0.5-4-2Pとし適宜モール、配管等保護を行うこと。防火区画の壁貫通を行う場合は、建築基準法に基づき防火区画処理を行うこと。
- (3) 電話機・PHSアンテナ等の設置は、既設配線・配管・端子台を使用しても良いこととする。屋外アンテナはシーリング処理(壁面~BOX間 含)を行うこと。
- (4) 主装置の電源は既設コンセントを抜け止コンセントに交換し、抜くことを禁止する旨の表示をする。
- (5) ページングアンテナへの接続は既設と同様とする。但し、放送の優先順位は非常放送の次とする。
- (6) 既設のONU、VOIPアダプタ用のUPSを新たに取付けること。



TITLE  
幼稚園 PHS 機器更新工事  
(わかば・神照・湖北)

DRAWING NAME	A1-SCALE	A3-SCALE	No.
神照幼稚園	1/200	1/400	14062210



湖北幼稚園				
		現況	改修後	備考
容量	アナログ	0	0 / 2	
	INS64	1	1 / 2	回路数(1回路2ch)
	ひかり電話	-	-	
	一般内線	-	0 / 2	
	多機能内線	9	9 / 12	
	PHS-BS回線	3	4 / 4	
	ドアホン	-	1	
端末	ページング	1	2 / 2	
	多機能電話機	9	9	
	テレホンアーム	0	0	
	PHSアンテナ	3	4	
	PHS端末	11	11	
	UPS	-	1	参考品番: BY50S

インターモニター付親機 (新設)  
 ※電源は分電盤内空きブレーカへ接続

EM-AE1. 2-2C	床下配線	解錠信号
EM-AE1. 2-2C	床下配線	音声信号
EM-AE1. 2-2C	床下配線	インターホA ※1
EM-AE1. 2-2C	床下配線	インターホB ※1

※1. 既設PBXに收容されたインターホ用配線と接続

記号	名称	数量	備考
K	既設電気錠操作盤	-	
I	インターモニター付親機	1	参考品番: VL-MZ50K
①	インターカメラ付玄関子機	2	参考品番: VL-V530L
②	インター玄関子機	1	交換機に收容すること。

※固定電話機及びPHS子機にてインターホンの応答と既設電気錠の解錠を行えるようにすること。

⊙	壁貫通 (防火区画貫通処理)	Ⓣ	多機能電話機	Ⓣ	PHSアンテナ
⊠	点検口 新設450口	ⓉA	多機能電話機(テレホンアーム付)	ⓉB	PHSアンテナ(防球)
⊡	点検口 既設450口	PBX	電話交換機	ⓉC	PHSアンテナ(屋外用)

- 注1) 図中特記なき配線は下記による。  
 (天井ごかし配線、露出部は配管保護実施のこと)  
 EM-ICT 0. 5-2P
- 注2) シンボルについて  
 実線 : 新設(既設有の場合は撤去のこと)  
 破線 : 撤去
- 注3) 「X」マークは撤去を示す。  
 撤去跡にカバープレート設置のこと。
- 注4) 「新」マークがあるものは新設とする。  
 無いものは既設機器の撤去、新設とする。

- (1) 主装置は更新するものとする。バッテリー設置場所に関しては担当者との協議の上、変更可とする。
- (2) 電話機、PHSアンテナの配線はEM-ICT0. 5-4-2Pと適宜モール、配管等保護を行うこと。防火区画の壁貫通を行う場合は、建築基準法に基づき防火区画処理を行うこと。
- (3) 電話機・PHSアンテナ等の設置は、既設配線・配管・端子台を使用しても良いこととする。屋外アンテナはシーリング処理(壁面~BOX間 含)を行うこと。
- (4) 主装置の電源は既設コンセントを抜け止コンセントに交換し、抜くことを禁止する旨の表示をする。
- (5) ページングアンプへの接続は既設と同様とする。但し、放送の優先順位は非常放送の次とする。
- (6) 既設のONU、VOIPアダプタ用のUPSを新たに取り付けること。